

持続可能な開発というテーマに疑問を持っていました。

工業も商業も農林漁業も産業革命により現在までずっと上の数字目標へ向かう達成を目指すので、使い過ぎや侵略した部分の資源をどうするつもりなのだろうと。

ほんの 2000 年程度の全地球的昔の文化や日本列島の先住民族は、小さい集落で集まって住み自然環境の一部だったので、収穫しすぎたり、土壌を次のために整えておかないと翌年以降の採取物が危うくなることをわかっていました。

役割分担により効率はよくなったものの、全体の循環がわからなくなったことは危ういことです。

海藤さんのお話とスライドによって、現生人類と生物が山海森水の基盤の上に立っていて、環境の急激な変化に繊細なものから死んでいくことがよくわかりました。

「NASA が気候変動による気温上昇を 1 分で理解できる動画「気候スパイラル」を公開」という記事を出しましたが、気温が高くなると地球冠の氷河が溶け海上の水分が大気中に上がるなどで地表の水分が増え高気温により蒸し蒸発し高熱により乾燥しと気象がとても荒れ狂うものになります。

気候のバランスを崩すと青森が鹿児島気候になるそうで、気温ひとつ取っても文化スタイルも適した住居も違って来るからには、文化の根底からの捉え直しや以前の生活スタイルに戻りたいなら何をすべきか判明してきそうだと思います。

現在文化の適応的变化を考えるフェイズのような気がします。慣れ親しんだ文化を続けたいなら地球全体で北南極冠再凍結を行うなど根本的な解決をすぐ行ってほしいと思いました。

お題目ではない SDGs の具体的なお話でした。ありがとうございました。